



12月号

2022 No.12



中日新聞「リンクト」
LINKED
plus+
シアワセを
つなぐ仕事

SPECIAL REPORT

患者の価値観を大切に
それぞれの思いを叶える。

緩和ケア特集

CONTENTS

- ① Cure 病気のおはなし
- ② Care 療養支援のおはなし
- ③ 地域医療を支える新しい力
- ④ 地域医療の豆知識
- ⑤ NEWS & TOPICS

Message
院長メッセージ

がんや心不全など根治の難しい病気を持った方々の痛みを和らげるために、当院ではがん性疼痛看護認定看護師をはじめ、多くの専門家がチームを組んで活動しています。痛みの緩和は生活の質に直結する重要なテーマです。ぜひ、今回の特集記事をご一読いただき、緩和ケアへの理解を深めていただければと思います。

SPECIAL REPORT

患者の価値観を大切に それぞれの思いを叶える。

緩和ケア特集

がん性疼痛看護認定看護師として
つらい病気を抱える人を支える。

CHAPTER 01

患者の思いを 第一に優先する。

西尾市民病院で、がん性疼痛看護認定看護師として活動する田境公治。彼には今も忘れられない患者がいるという。それは数年前、乳がん末期でがん性胸膜炎を発症し、溜まった胸水を抜くために入院を繰り返していた30歳の女性のことだった。「悪化するにつれ呼吸困難が出ていたため、患者さんが少しでも楽な体位を工夫したり、主治医と担当薬剤師と相談し日常生活の動作時に発生する息苦しさを緩和できるように、予防的な薬の使用や量の調整に努めました」と話す。その患者が症状の悪化により、自宅療養での支援が今までの以上に必要な状態で、退院することになった。「僕は当然、継続した看護が必要だと考え、訪問看護師の準備をしていたんです。ところが、患者さんは訪問看護は一切いらないと言われたんですね。実は患者の思いは、全く違うところにあった。残り少ない日々だからこそ、できるだけ他人を入れず、家族だけの時間を楽しみたいし、幼い子どもたちに医療行為を受ける母の姿を見せたくなかったのだ。「このときは患者さんの思いを最優先し、ご家族に必要な看護についてお願いして送り出しました。院内でもACP（人生会議…コラム参照）の取り組みに力を入れ始めていた頃で、医療者の思い込みや先入観で物事を考えるの

ではなく、患者さんの人生観や価値観を尊重して、残された日々を支えるべきであることを学びました」と、田境は振り返る。

田境は平成30年7月にがん性疼痛看護認定看護師の資格を取得。がん患者の生活の質に大きく関わる疼痛コントロールを専門とし、主に入院中の患者の痛みの緩和を支援してきた。先に紹介した事例のように、退院支援に関わることも多く、少しでも安楽に療養できるように心を砕く。「がんの疼痛については、医療用麻薬を使ってコントロールするのが一般的になりました。でも高齢の患者さんやご家族はモルヒネと聞くと（怖いもの）と考えてしまい、先入観などから使用したくないケースもあります。痛みを我慢せず、痛みと共存するために、必要な薬はしっかり使っていただくよう退院後の療養指導に力を注いでいます」（田境）。

C O L U M N

●ACP（アドバンス・ケア・プランニング）は、人生会議と呼ばれる。もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、周囲の信頼する人たちや医療者とじっくり話し合い、共有する取り組みである。

●西尾市民病院は、平成29年度からACPプロジェクトチームを立ち上げ、「人生会議」を支援するための活動を推進。根治が難しい病気を抱えた患者の思いを尊重したケアに努めている。



BACKSTAGE

退院後も切れ目なく 緩和ケアを繋いでいく。

●二人に一人ががんにかかる時代、がんを抱えながら生活することは珍しくなくなった。そこで重要なのは、病気にまつわる身体的、精神的、社会的な苦痛をいかに和らげるかという、緩和ケアの取り組みである。

●西尾市民病院では患者の思いや価値観を第一に、エビデンスに基づく緩和ケアを、入院中から退院後の療養生活まで切れ目なく提供している。そうすることで、一人でも多くの患者が安楽な療養生活を送ることができるのではないだろうか。



田境は病棟での看護業務に加え、がん性疼痛看護認定看護師の活動日を入れて、組織横断的に活動しているほか、緩和ケアチームにも所属している。緩和ケアチームは、精神症状および身体症状の緩和を担当する各医師、認定薬剤師、認定看護師、公認心理師、管理栄養士、社会福祉士で構成される多職種チーム。がんや心不全などの患者を対象に、入院患者の心や身体のつらい症状を和らげ、生活の質を高めるよう活動している。「緩和ケアチームでは週に1回、各病棟をラウンドして、対象となる患者さんのお話を伺います。そこで大切に行っているのは、患者さんの話に耳を傾けること。どんな思いで、どういう療養を望んでいるか、ということを知ること自体が緩和ケアに繋がるという考えで寄り添っています」と、田境。また、痛みの種類も幅広い。「たとえば、経済面の悩みや精神的な負

担も苦痛の一つ。社会資源の活用などを提案しながら、いろんな痛みを総合的に取り除き、退院後の療養環境を整えていくことが私たちの重要な役割です」。

そうした思いで取り組んでいる緩和ケアだが、周囲の理解はまだそれほど高くないという。「緩和ケアというと、ターミナルの患者さんを対象に特別なことをすると思われるがちです。でも、決してそうではなく、患者さんの痛みや不安を和らげるケアは、医療や看護の基本でもあります。院内の職員も連携する地域の施設の方々も緩和ケアについて正しく理解し、患者さんの生き方や価値観を尊重して継続して支援できればいいと考えています」と、田境。そして、そのときに重要になるのは、緩和ケアのエビデンス(科学的根拠)だという。「常に最新のエビデンスを学び、医療者の主観や思い込みではなく、エビデンスに基づいたケアを実践していきたい」と抱負を語る田境、これからも患者の痛みを理解し、思いに寄り添い、緩和ケアの質を高めていこうとしている。

CHAPTER 02 患者の苦痛を和らげ 療養生活を支えたい。

キュア Cure 病気の おはなし

先生、
教えて！

テーマ

子宮がん

若い世代の子宮頸がん、
閉経前後の子宮体がん。
ご自分の気づきが大きな鍵。

01 子宮頸がんを早期発見 するためには定期的な がん検診の受診が大切。

子宮がんには、子宮の入り口である子宮頸部に発生する「子宮頸がん」と、子宮の内側を覆う子宮内膜という組織から発生する「子宮体がん」とがあります。

「子宮頸がん」は、比較的若い世代（20歳代後半～30歳代後半）で発生するのが特徴で、性交渉によるヒトパピローマウイルス（HPV）感染により発症するとされています。初期段階で発見するためには、定期的ながん検診を受診することが大切です。性器出血、性交後出血などの自覚症状がある場合は、ある程度進行しているため、手術・薬物療法（抗がん剤）・放射線療法を組み合わせた集学的治療を必要とします。

02 いつもとは違う出血が あったら、すぐに受診すべき 子宮体がん。

「子宮体がん」は、女性ホルモンが関係して発生する場合は比較的多いがんです。発症年齢は閉経の頃（50歳代前後～60歳代）がピークとなります。

子宮体がんでもよく見られる症状が不正性器出血です。症状が進んでいない早期の段階でも性器出血を起

こすことが多くあり、特に閉経後の場合、出血をきっかけに受診される方が多く、比較的高い確率で、早期発見に役立つことがあります。

治療は、早期がんの場合は、手術を行います。進行しているケースでは、手術と抗がん剤を中心とした集学的治療になります。なお、進行すると、膣や卵巣、卵管などを巻き込み増殖し、リンパ節を含む遠隔転移を引き起こしてしまいます。



Message

医師からのメッセージ



産婦人科部長
前田 修

子宮頸がんはがん検診受診、子宮体がんは異常出血に要注意。

子宮がんは早期発見・早期治療が何より重要です。子宮頸がんでは、二十歳になったら、自治体などで行われている子宮がん検診を、2年に一回は受けましょう。子宮頸がんを予防するHPVワクチンも受けましょう。一方、子宮体がんは、特に注意したい閉経前後に、いつもとは違う出血があったら、躊躇せずに産婦人科にかかりましょう。

当院では、問診や細胞診などによりがんである可能性が高いと診断した場合には、より精密な検査や、患者さんに応じた適切な治療ができる医療機関をご紹介します。産婦人科の専門医・指導医としての経験を活かし、患者さんにとってのベストは何かを一緒に考えますので、心配なことがあれば遠慮なくご相談ください。

療養支援 のおはなし

テーマ

外来治療センター

いつもの暮らしを諦めず、
生活のなかに治療を取り込み、
がん治療を受ける方を支えます。

病気を
治すだけじゃ
ありません。



働きながら、子育てしながら がん治療を受ける。

外来治療センターは、外来に通院の上、治療をお受けいただくところです。治療だけに専念する入院治療に対して、外来治療の場合は、生活のなかに治療を取り込むという形になります。働きながら、社会参加しながら、あるいは、子育てをしながら治療を受けることができます。

患者さんの多くは、がんを患っている方です。がんの三大治療には手術・薬物療法・放射線療法がありますが、そのなかの薬物療法である抗がん剤による治療を、当センターは行っています。センターには、がん化学療法看護認定看護師がいて、患者さんが安全で確実な治療を受けられるよう支援しています。

その人らしさを大切に、 治療を進める。

今日では、がん治療の選択肢が増えており、そのなかで抗がん剤治療を選ばれる方もいらっしゃいます。

抗がん剤治療というと、以前は全身の細胞に効くタイプの薬剤が主流でしたが、今では分子標的薬のように、特定の分子にだけ効く薬も誕生し、さまざま

な副作用に注意が必要となってきました。副作用による苦痛をなるべく減らし、治療が継続できるように、お手伝いさせていただきます。

大切なのは、診療ガイドラインを守りながらも、患者さんの個別性にどう対応していくかということです。当センターではその人らしさを大切に、お一人お一人に寄り添う治療・看護を進めています。



Message

私たちが支援します



がん化学療法看護
認定看護師
山中明子

患者さんの気持ちを最優先し、一緒に歩んでいきます。

当センターをご利用いただくにあたって、最初はセンターの特徴などのオリエンテーションから始めていきます。そして、病気に対する思い、副作用に対するイメージなど、治療中のフォローに繋がる問診をさせていただいています。

私自身が日々大切にしているのは、患者さんの気持ちを最優先し、患者さんが望まない、納得しない治療、フォローは進めないということです。その上で、なるべく我慢しないで生活をお送りいただけるよう、お食事や外見のフォロー、リンパ浮腫への対応にも努めています。ご自身にとって、どんな小さなことでも、また、少しでも不安があれば、ご相談ください。患者さんの立場になり、対応策を必ず見つけていきます。



地域医療を支える

新しい力

チカラ

対談企画

初期臨床研修医

新人看護師



私たちの
仲間をご紹介。

コミュニケーション力で支えられ、支える日々。



1年目の北川先生、2年目の松井看護師、現在の状況をお教えてください。

北川 松井さんは2年目なので、そろそろ仕事に慣れたのではありませんか？

松井 最初は、看護だけではなく、身の回りのお世話も含め、多様な仕事があることに驚きました。それから、私は人見知りで、患者さんとのコミュニケーションにも苦手意識を持っていたんです。でも、先輩がとてもやさしく、病棟（内科・眼科）の雰囲気もすごく良くて、解らないことは気兼ねなく聞けたので、少しずつ仕事に慣れることができました。北川先生はいかがですか？

北川 医師資格取得後の臨床研修1年目ですから、まだまだ余裕はありません！（笑）一番動き回っているのは、救急外来ですが、そこにはベテラン看護師がいて、救急患者さんが重なっても、円滑に進むようサポートしてくれています。慣れない研修医のことを、スタッフはよく理解してくれているので、何でも相談することができて支えられています。



仕事で、大切にしていることは何ですか？
また、将来の夢は何ですか？

松井 その方が元々どういう生活をしていらっしゃるかというと、患者さんの背景に目を向けるようにして、たとえ同じ病気でも、同じ看護にならないように気をつけています。

北川 僕は、病状や治療について、ご本人にはもちろん、ご家族にも画像や検査数値を示し、できるだけ客観的で丁寧な説明を心がけていますね。医学的な判断で大丈夫だと思っても、ご本人やご家族にいかにも伝えるかで、受け止め方も違ってきますからね。コミュニケーションの大切さを痛感します。

松井 私もそう思います。ところで将来の夢はいかがですか？

北川 精神科に興味を持っています。身体は健康なのに、精神的な不調で幸せに過ごせない。そこに医学的な知識を持って介入できたら、やりがいのある仕事になると思っています。

松井 私は、訪問看護です。一人の人にじっくり向き合えるところに魅力を感じますね。

北川 まだまだ先の夢ですが、お互い頑張りましょう！

初期臨床研修医（1年目）

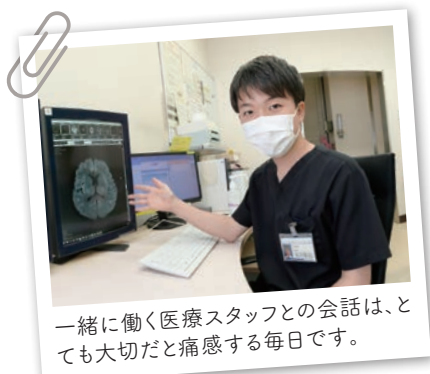
北川聖起（きたがわ まさき）

愛知県知立市出身。母親が看護師で小さい頃から医療、医学は身近な存在でした。

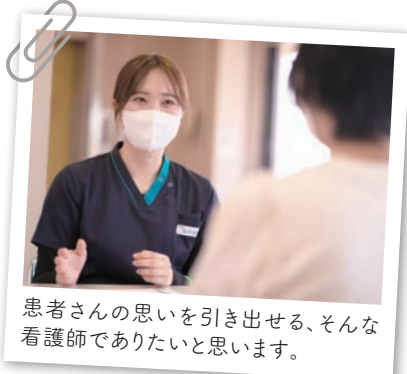
新人看護師（2年目）

松井美紗（まつい みさ）

愛知県安城市出身。幼いときに会った看護師のやさしさ、人間性に憧れこの道に。



一緒に働く医療スタッフとの会話は、とても大切だと痛感する毎日です。



患者さんの思いを引き出せる、そんな看護師でありたいと思います。

こんな言葉知っていますか？

地域医療の 豆知識

M A M E C H I S H I K I

テーマ 救急外来

今回は(救急外来)について学びましょう



24時間365日稼働し、 病気や怪我などで緊急事態にある方に、 応急的な診察、処置を行います。

救急外来とは、医療機関が原則として診療時間外(休日や夜間)に、突然身体の不調が生じた方や、前々からの病気が急に悪くなった患者さんの診療を行う場です。つまり、急いで治療をしないと命にも関わるといふ、緊急事態にある方への対応を果たすことが第一の役割となります。

診療を受ける方が緊急事態かどうかは、医師や看護師などが、専門的な立場で判断していきます。その場合、ご本人の自覚症状や、付き添いの方の印象とは異なることがあります。そのため、緊急性の高い方が来た場合、診療の順番が替わることもあります。

なお、救急外来は24時間365日稼働し、緊急処置や検査の実施、必要に応じて、緊急手術の手配や経過観察での入院などに対応しますが、あくまでも緊急時のための診療機能です。そのため緊急性の低い方は、応急的な診察と処置を受けた後は帰宅し、根本的な検査・治療は、後日、通常の外来診療で受けることになります。



西尾市民病院では

看護師の準備力、先回り力を磨き、命を守る最大限の努力を続けています。

当院は、救急告示医療機関として、救急搬送された、また、独歩来院された傷病者の方々に対応しています。

救急外来の第一の使命は、命を繋ぎ止めることです。当院の救急外来では若い研修医が多いため、私を含め2名の救急看護認定看護師や、キャリアを積んだ救急外来看護師は、いかに研修医をサポートするかが重要となります。医師の指示待ちではなく、医師への提案も含め、命を見つめた緊急対応に全力を注いでいます。

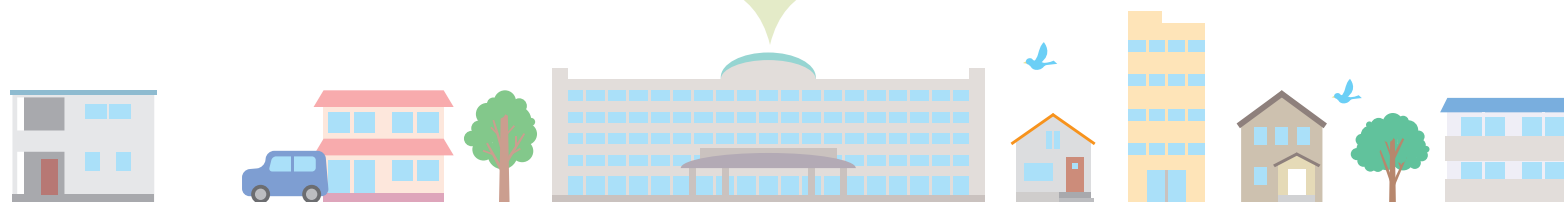
そのために必要なのは、看護師自身の準備力と先回り力です。これを向上させるため、私はこれまで救急外来の看護師、そして、病棟看護師を対象に、蘇生術の指導を行ってきました。現在では、心肺停止に陥る前に、患者さんの急変の兆候に、いかに早く気づくかといった視

点の研修、加えて、研修後のブラッシュアップとして、急変対応の研修なども実施し、二次救急病院としての責務を果たせるよう努力を重ねています。

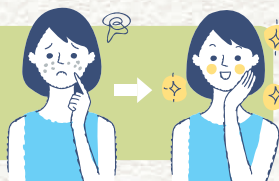
市民の皆さまにお願いがあります。ご自身が、また、ご家族が、どうも様子がおかしいと思われたときは、決して我慢せず当院救急外来にお越しください。ほんの少しの時間の差で、治療や予後に影響を与えます。

救急外来でお会いしないのが一番良いことですが、私たちはいつもここにて、皆さまの命を守る最大限の準備をしています。

救急外来
相沢 努(救急看護認定看護師)

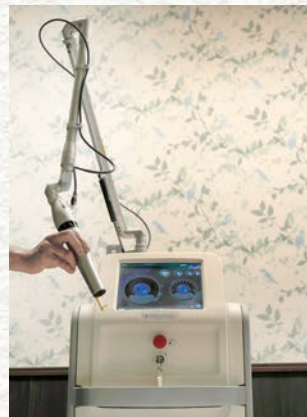


令和4年9月に、新しいレーザー装置を導入。 ほくろやしみをより美しく治療できます。



目立つ部分のほくろやしみに悩んでいませんか？

当院の形成外科では、ほくろやしみに対してのレーザー治療を行っています。令和4年9月には、30分の1秒で照射できるレーザー装置を新しく導入しました。この装置は、従来の装置に比べて短時間で痛みや熱さが少なく、周辺組織へのダメージも最小限に抑えた治療ができます。そのため、今までは完全に消せなかったしみなども、より自然に美しく消せるようになりました。気になるほくろやしみがあられる方は、一人で悩まず気軽にかかりつけ医にご相談ください。



費用について

医師にほくろを診断してもらい、治療をしなければならぬと判断されると保険適用で治療を受けられます。美容目的でほくろ除去をする場合は自費になります。ほくろ除去に限らず、美容目的で診察や手術を受ける場合は健康保険は適用されません。詳しくは、当院形成外科までお問い合わせください。

Doctor's Message

**患者さんの体にもより負担が少なく、
安心して受けていただけます。**

目立つ部分のほくろやしみなどが原因で、コンプレックスを抱えている方は多いと思います。新しいレーザー装置の導入で、患者さんにとってより負担が少なく、高度な技術を提供できるようになりました。少しでも悩んでいる方は、まずご相談ください。（形成外科部長 木内達也）



地域医療デジタル掲示板 広告募集

企業の皆さま、医療機関・介護施設の皆さま

**西尾市民病院、市役所設置の
大型モニターで市民の皆さんに
情報をお届けできます。**

※掲載事項および内容には、審査がございます。



詳しくはお問い合わせください

合同会社プロジェクトリンク事務局
担当: 吉見

TEL: 052-884-7831

info@project-linked.com

看護師募集中!

お気軽にお問い合わせください。



安心して働ける
サポートがあります。

お問い合わせ先 西尾市民病院 事務部 管理課 職員担当
0563-56-3171 (内線2286)

病院広報誌 特設サイト



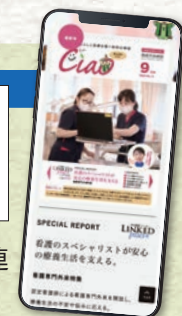
こちらから



地域の皆さんや連携機関の皆さんと「西尾市民病院」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。

LINE〈公式〉アカウント

病院広報誌「Ciao」のLINE〈公式〉アカウントを開設しました。QRコードから「友だち追加」をお願いいたします。



西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL

〒445-8510 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地

TEL 0563-56-3171 (代表) URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/>



発行責任者/院長 棚宣田 政隆

発行/西尾市民病院

記事提供/中日新聞広告局

編集協力/プロジェクトリンク事務局

発行日/2022年12月23日